

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590500102		
法人名	株式会社 スワロー		
事業所名	ももの木かしわざき グループホーム和奏		
所在地	柏崎市元城町1-46-2		
自己評価作成日	令和6年11月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=1590500102-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和7年1月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の個人を尊重し身体機能に合わせ今できている事を維持し認知症があっても穏やかに役割を持って笑顔で過ごして頂けるよう個別ケア、健康管理に重点を置き毎日を過ごしています。入居者様の受診時には看護師より担当ドクターへ生活状況を連携シートで報告共有し医療と連携を図っています。コロナウイルス5類移行になり外部ボランティアに入ってもらっています。敬老会では男性ボランティアによるコンサートを開催しました。高校生の実習の場として受け入れも開始。少しずつ元の生活を取り戻している状況です。感染予防に関して居住空間の消毒、職員は体調不良時、無理せず休むを前提とし出勤したら手洗い、手指消毒、検温の徹底、職員がウイルスを持ち込まないよう予防に努めています。ご家族様の面会は感染状況を見ながら現在は各居室で行っています。感染予防の徹底でコロナウイルス感染症発生から一度も感染症は施設へ入っていません。春にはじゃが芋植え、夏はきゅうり、ピーマン、トマトの夏野菜と一緒に植え散歩時に観察しながら大きくなり収穫できるのを楽しみにしています。秋、ご家族様より柿を頂き入居者様に洗抜きをしてもらい召し上がって頂いています。自分達で作った柿は美味しかったようです。地域の子供神輿が訪問に来所、わっしょい、わっしょいと大きな声で掛け声を掛け皆様笑顔が溢れていました。地域の納涼会へ毎年声を掛けてもらい楽しく交流させてもらっています。防災に関して町内会長、消防団の立ち会のもと訓練を行っています。地域の防災訓練に職員も参加しています。入居者様が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう地域に根ざし信頼される事業所として頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○継続的な地域交流と働き続けるための職場環境づくり

地域密着型サービスの事業所として自治会に加入し、地域住民の一員として活動や関わりを積極的に持っている。地域の子供神輿が事業所を訪問した際には、子供たちの声に合わせて「わっしょい、わっしょい！」と利用者も大きな声で応援したり、多種多様な地域ボランティアの受け入れは、利用者の笑顔と拍手を一段と引き出している。納涼会では数名の利用者とともに出店で買物を楽しみ、賑やかなお祭り気分を味わいつつ地域住民との交流を図っている。近隣高校の実習場所として受け入れを開始し、高校生ならではの企画や進行で高校生と触れ合う実習訪問を3回受けている。地域のコミュニティセンターでは「オレンジカフェ」の再開や広報誌「和奏だより」の配布を行い、地区の消防訓練には職員が参加し地域での必要な役割を積極的に担っている。事業所の火災報知器が誤作動を起こした際には、地区の消防団員が駆けつけることがあり、地域住民と良好な協力体制を築いている。事業所は職員の意見を反映し全職員で検討や工夫を重ねながら、利用者にも有益な形での業務改善を実現している。また、職員からの提案を受け、働きやすい職場環境の整備に向けて取り組んでいる。風通しの良い職場環境や職員の良好な関係性から生まれるチーム力は、利用者を含み込む穏やかなチームワークを育てている。お互いに意見を出し合いながら更なるサービス向上を目指し、地域に根差した事業所として期待される。

○日々の暮らしの充実と楽しみを広げる取り組み

事業所では毎月の行事を職員が順番にイベント担当者となり、企画立案から実施までを行っている。お花見や紅葉見学、白鳥見学などの外出行事や、節分や敬老会、クリスマス会など、季節を感じる事ができるイベントを毎月実施し、利用者を楽しんでもらえるよう取り組んでいる。事業所のリビングや廊下の壁面には、外出や行事の際の様子と利用者の笑顔あふれる写真がたくさん掲示されており、日々の会話のきっかけに繋がっている。また、広報誌「和奏だより」にも利用者や職員の笑顔の写真を掲載し、家族や地域の方にも事業所の取り組みを伝えている。職員は事業所の理念の1つである「面白い事を考えます」を実践しており、職員が楽しく笑顔で仕事をする事で利用者の日々の暮らしが充実し、利用者が生き生きと暮らす様子や笑顔となることに喜びを感じ日々支援している。